

小型入金機「DSS - S10」を開発 ～ 小規模店のニーズを満たす入金機市場の戦略商品としてラインアップ ～

【概 略】

この度、弊社は、小規模な外食店や流通小売店の売上金を安全かつ安心して金融機関などに入金処理できる低コストの小型入金機「DSS - S10」を新たに開発いたしました。

近年急増する大手ファーストフード、ファミリーレストラン、居酒屋など外食産業やドラッグストアやホームセンターなどの量販店では、警備会社が提供する、売上金入金機を介した売上金と釣銭準備金の集配金サービスを導入し、セキュリティの高い効率的な売上金処理が行なわれています。

しかし、レジ台数が1、2台の小規模な店舗などでは、経営者や店長が毎日の売上金を金融機関の窓口や夜間金庫に入金し、しかも金融機関の両替機などを使って代金精算に必要な釣銭金を準備するなど、煩わしさと併せてセキュリティ面においても多くの課題があります。

一方、売上金を入金処理する金融機関では、収益改善策の一環として、夜間金庫の廃止や両替手数料化等が進み、売上金処理における経費負担が余儀なくされています。また、売上金を狙った犯罪も増加しており、取り巻く環境は大きく変化しております。

このたび開発の「DSS - S10」は、設置スペース、導入コストなどの面から従来導入が難しいとされていた小規模店舗での売上金処理の厳正化、セキュリティの強化などのニーズを満たすことのできる集配金サービスを実現しました。

「DSS - S10」は、平成5年から弊社が大手百貨店、ショッピングセンターなどに納めてきました売上金入金機「DSS - 100、200シリーズ」を基本に、機能を絞ることで、コンパクト化、低コスト化、またセキュリティ機能付の保管庫を装備したことで、現在使っている事務機などの代りに設置可能となり、コンパクト化の実現により、狭いスペースを有効活用できます。

さらに、「DSS - S10」を導入することで、営業時間中の売上金額チェックなどの現金管理業務を大幅に削減でき、金融機関などへの売上金入金の際の再計数、伝票記入と確認などの作業から開放され、現金取扱者のマネーストレスを軽減することができます。また、機械操作は権限を設定できるIDカードで管理しているため、権限を与えればアルバイトでも入金可能です。

弊社は、平成5年に警備会社と協力し、業界初の集配金業務向け入金機「DSS - 100」を開発しました。以来、警備会社向け入金機市場において、高い占有率を維持しております。

この新たな戦略商品である「DSS - S10」をラインアップに追加することで、入金機市場を拡大し、さらにその販売台数とシェアを伸ばしてまいります。

【特 徴】

1. ローコスト化、コンパクト化を実現

従来機「DSS - 200」と比較して、設置面積を約 16%縮小、価格は約 48%ダウンを実現。

2. セキュリティ保管庫を装備

本機は日本自動販売機工業会が設定している防盜性レベル2に準拠しており、その堅牢な筐体内に保管庫を設けることで重要物などの保管に用いている現状の事務機などの代りに使用できます。

3. 厳正な使用者管理で無人運用が可能

機械を操作する際、専用のカードを用いることで、誰がいつどんな操作をしたかの管理が可能。さらに、カードには操作できる作業内容を限定でき、例えば、パート/アルバイトの方は、入金作業のみを選択するように設定可能です。

4. 売上金入金確定が容易

紙幣と硬貨の売上金をそれぞれ投入口にセットし、スタートボタン押下すれば、紙幣約3枚/秒、硬貨約10枚/秒のスピードで計数し、入金金額、回収金額など各種伝票記載項目はジャーナルに印字され、売上金処理業務を完了できます。

5. 専用カセットによる警備会社の集配金サービスを実現

機内では、紙幣・硬貨がそれぞれ専用の施錠されたカセットに取り込まれ、警備会社の警備員は釣銭準備金を入れたカセットと入れ替えに、売上金が入ったカセットを持ち帰るため、現金に手を触れることなく、受渡しができ、入金後は警備会社に全て任すことができます。